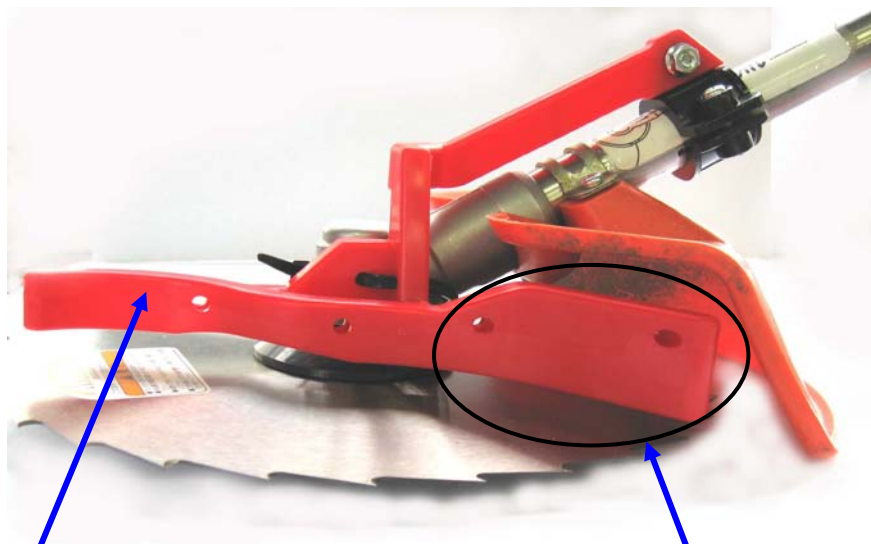


「草刈集草用具：集草アーム」

純正の防護カバーを取り付けたままで集草をするための商品！
※防護カバーはどんな種類でもOK！

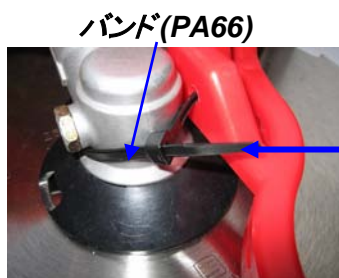


メーカー純正の
通常防護カバー
(安全鑑定品)
※外してはいけません！

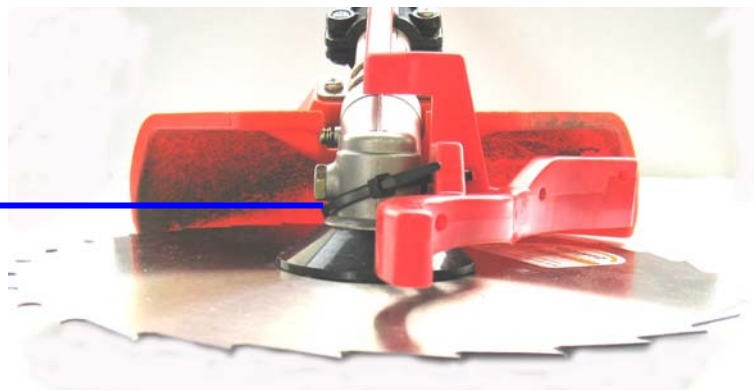


アーム部

この空間を無くし草の入り込むのを防止



バンド(PA66)

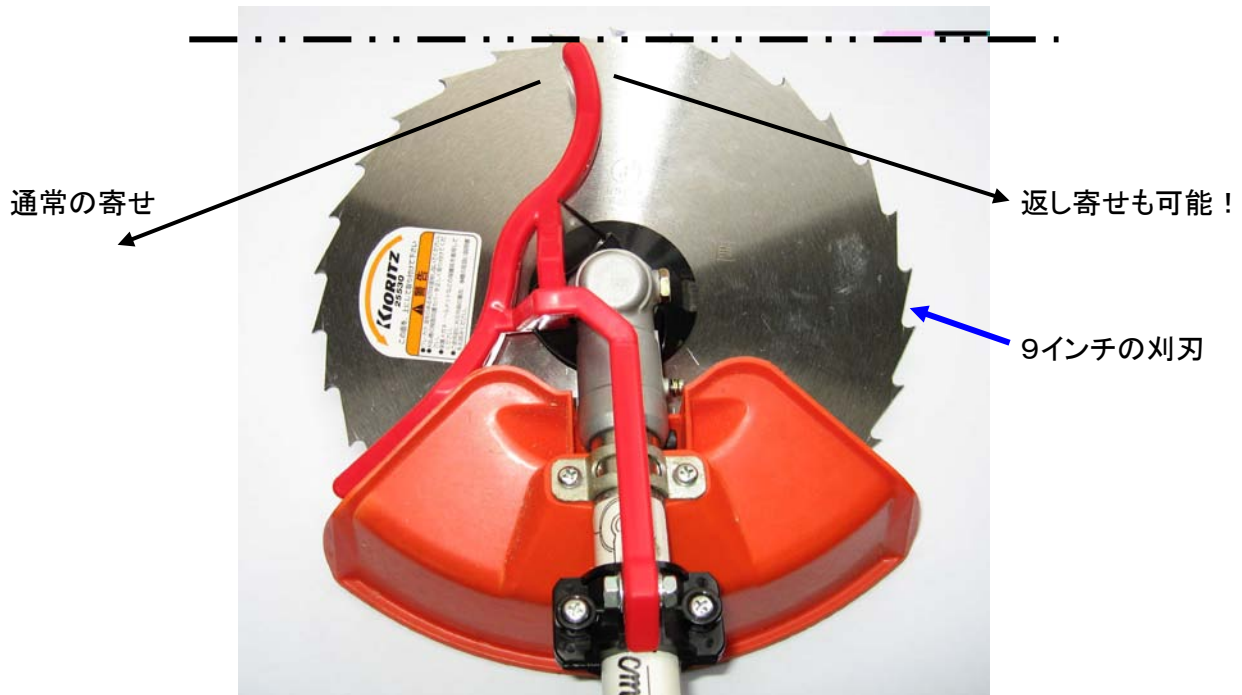


様々なギアケースにバンドを使ってしっかり固定(耐候性に優れたPA66のバンド)

金属刃のサイズは9インチでも10インチでもOK！

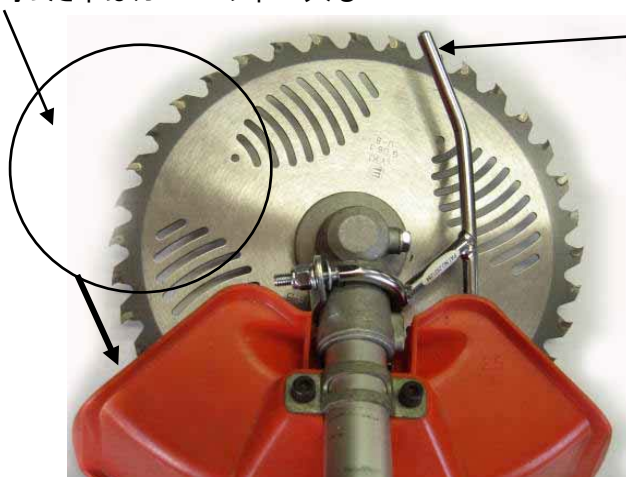
※刃先がアーム先端より、外側にあることが重要です！

もし、アームの方が外側にあると草に引っかかり仕事になりません！



他社品について Sくん

ここで刈った草はカバーの中へ入る

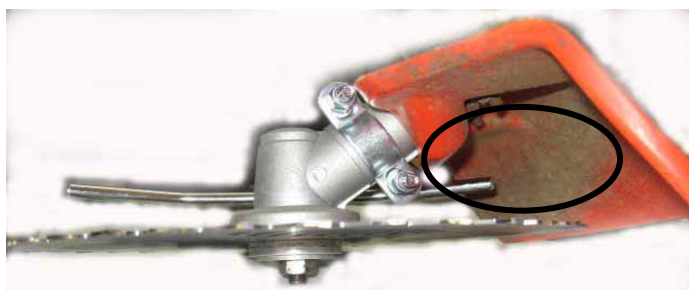


アームがギアケースの右側に
セットされる！意味無し！
※DXは左側へ変わった！！
また、刃先よりアーム部が
外側にあるので、
草に引っかかる！！

入り込みにより、詰まって仕方ないので、ユーザーは防護カバーを外してしまう。

外さないと草は集まりません！！！！

→ 危険！



草を寄せしているのではなく
内部に溜まったものを
左側へ無理やり
運ぶだけ。疲れる。

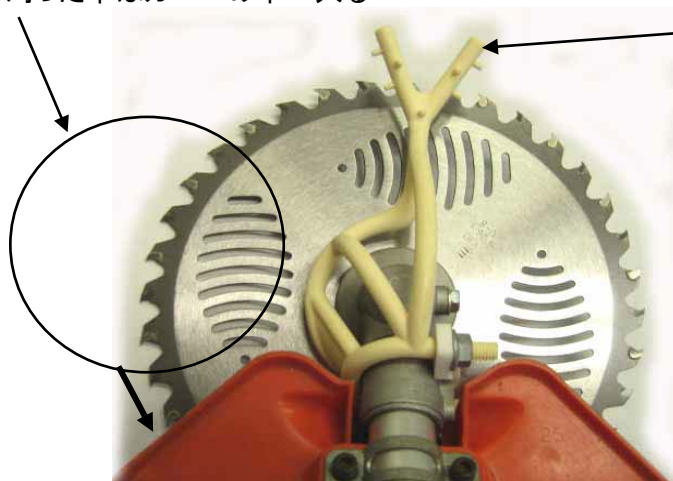
ギアケースを締付ける→内部の与圧が変わり、ギアケースの発熱の危険あり。
閉め過ぎによるクラックの恐れあり。



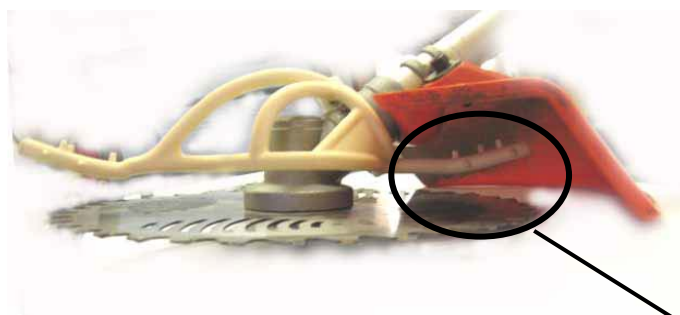
SくんDX(デラックス)

※DXはアームの位置が左側へ変わった！！

ここで刈った草はカバーの中へ入る

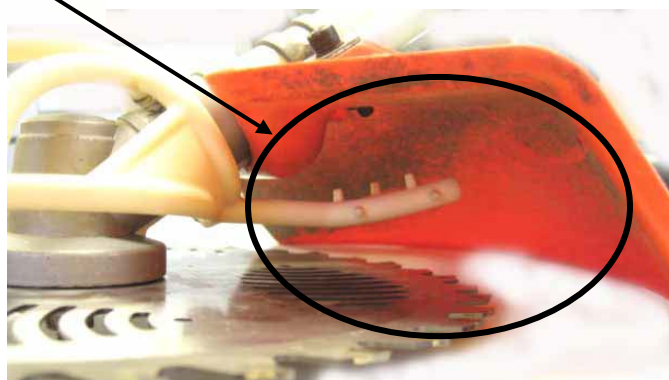


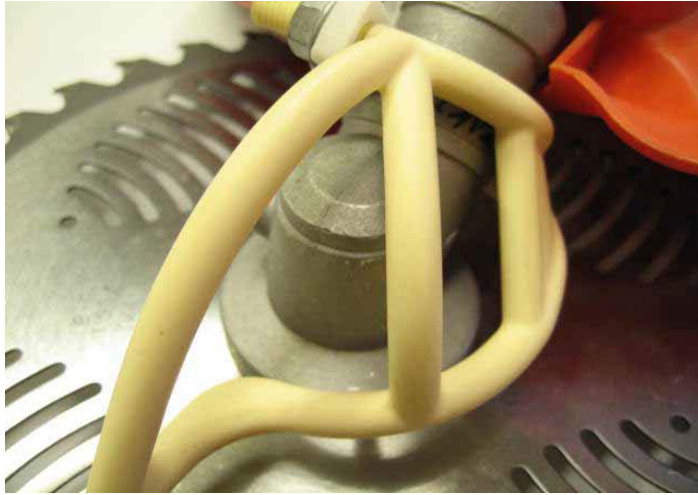
アーム先端が刃先より外側
先端での草刈はできない。
引っかかる！！



溜まる！
貯める工夫！？貯めて運ぶ！？

拡大





ジャングルジムのような
この構造！
草が絡んで仕方ない！

**防護カバーは外さないと
草は集まりません。**



危険！